



厚木市 幼保小連携 架け橋プログラム

2025.11月

健康こどもみらい部 こども育成課・保育課

教育委員会 教育指導課

幼保小架け橋プログラムの実施に係る
カリキュラム開発研究会

I 架け橋プログラムとは

子供に関わる大人（幼稚園、保育所、小学校）が連携し、
架け橋期（義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間）に
ふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、
一人一人の多様性に配慮した上で全ての子供に
学びや生活の基盤を育むことを目指すもの



I 架け橋プログラムとは

幼稚園、保育所、小学校それぞれの要領、指針等において位置付けが明記されています。

幼稚園 教育要領

(2) 小学校教育との接続

幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、**小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け**、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、**幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。**

文部科学省 幼稚園教育要領（H29年告示）解説 P86 「5 小学校教育との接続に当たっての留意事項」

(2) 小学校との連携

保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、**小学校教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け**、第1章の4の（2）に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、**保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めること。**

厚生労働省 保育所保育指針（H29年告示）解説 P298 「4 保育の実施に関して留意すべき事項」

(1) 幼児期の教育との接続及び低学年における教育全体の充実

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。また、（～中略～）特に、**小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。**

文部科学省 小学校学習指導要領（H29年告示）解説 総則編 P73 「4 学校段階等間の接続」

小学校 学習指導 要領

2 厚木市版 架け橋プログラムについて

～厚木市の取組の概要～

厚木市では、幼稚園、保育所、小学校等が、その活動を共に確認し合いながら、こどもたちの成長する姿を話し合うことができるようにすることを目指し、市内全域のこどもを対象に、段階を踏みながら幼保小連携を進める独自の取組を進めます。

1 各園・各校の独自性を尊重した柔軟な枠組み

厚木市版架け橋プログラムでは、まず、全市で共通に目指す内容を明確化し、連携の基盤となる幼保小共通の「カリキュラムフォーマット」の骨格を整理します。

これに基づき、各園・各校は、それぞれの環境や特色に応じて具体的な「取組・行事シート」を作成し、実践します。これまで築き上げてきた各施設の個性や創意工夫を尊重し、活動の幅を広げる柔軟な枠組みとします。

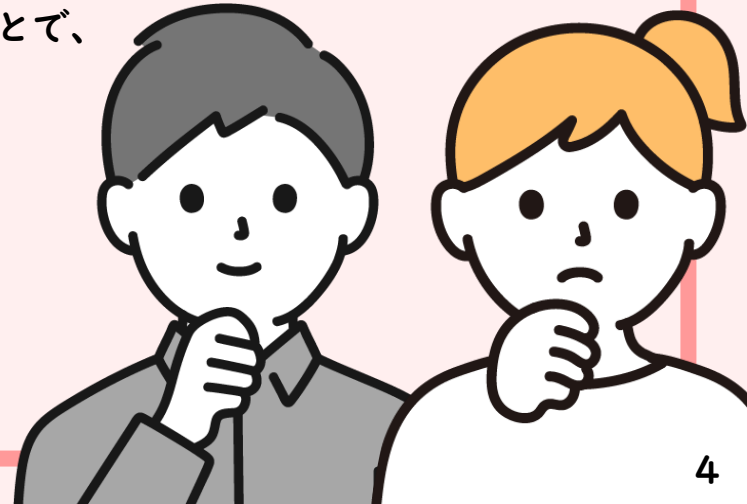
2 全てのこどもを包含した取組

架け橋プログラムの取組は、段階を踏みながら市内全域への展開を目指します。

また、自宅保育の家庭に対しても、情報提供や講座等を実施することで、全てのこどもを包含したものとしていきます。

3 関係者間の対話・協働（実践グループによる取組）

市のコーディネートの下、各小学校を中心とした幼保小のグループ（実践グループ）を設け、関係者で共通理解を図りながらカリキュラムの開発、検証及び改善を図り、多様な施設の関係者が立場を越えて対話・協働を深めていきます。



3 カリキュラム研究会について

「カリキュラム研究会」

(正式名称：幼保小架け橋プログラムの実施に係るカリキュラム開発研究会)

架け橋プログラムを実効性の高い取組とするために、幼稚園、保育所及び小学校の実務者により構成される研究会を設置し、議論を重ねてきました。

● 目的と役割

研究会では、幼保小の現場での連携・実践に先立ち、厚木市全体としてのねらいは何か、めざすべき姿は何か等について検討・整理を行い、連携の基盤となる幼保小共通の「カリキュラムフォーマット」の骨格を整理しました。

今後も研究会は継続し、各実践グループでの実施状況を検証し、カリキュラムフォーマットの改善を行う予定です。

● 研究会構成メンバー (幼保小から実務者各3人)

幼稚園

厚木たちばな幼稚園 三好先生
はやし幼稚園 小野先生
ちぐさ幼稚園 屋城先生

保育所

湘南カトリア保育園 山田先生
三田保育園 今井先生
南毛利保育所 振原先生

小学校

北小学校 鈴木先生
南毛利小学校 徳永先生
戸室小学校 大谷先生

事務局

こども育成課
保育課
教育指導課



3 カリキュラム研究会について

● 幼保小共通の「カリキュラムフォーマット」骨格の整理

カリキュラムフォーマットは、こどもたちの成長の連続性と幼保小の連携を支えるため、カリキュラム研究会における検討を経て設けた厚木市の共通書式です。

研究会では、カリキュラムフォーマットの階層のうち、連携の土台となる骨格部分について議論し、全市共通の指針として整理しました。

カリキュラムフォーマット



ねらい・めざす姿

幼保小が連携して育む厚木市共通の目指すこどもの姿

遊びや生活を通して大切にしたい経験・できる行動

ねらいを達成するために、遊びや生活の中で大切にしたい具体的な経験（幼保）と、こどもができるようになる行動（小）の具体例

取組

各実践グループ、各園・各校等で検討・実践

行事

各実践グループ、各園・各校等で検討・実践

カリキュラムフォーマットの
骨格部分

※ 全市共通の指針とすべく、カリキュラム研究会で先行して整理

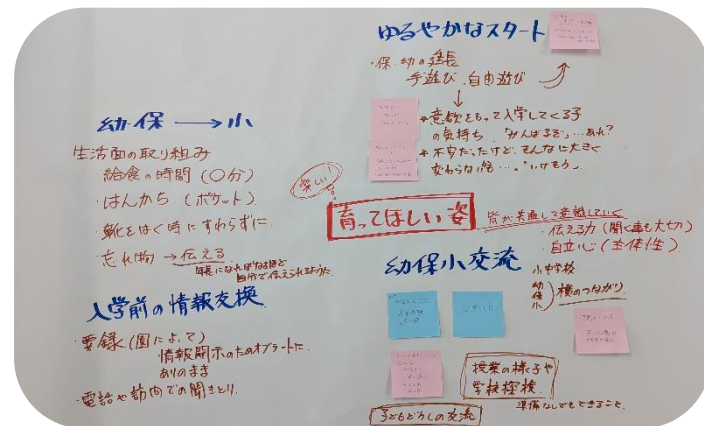
取組・行事シート

※ 各実践グループ、各園・各校等において、より具体的に検討し、各々の独自性を生かしながらシートを作成し実践する

3 カリキュラム研究会について

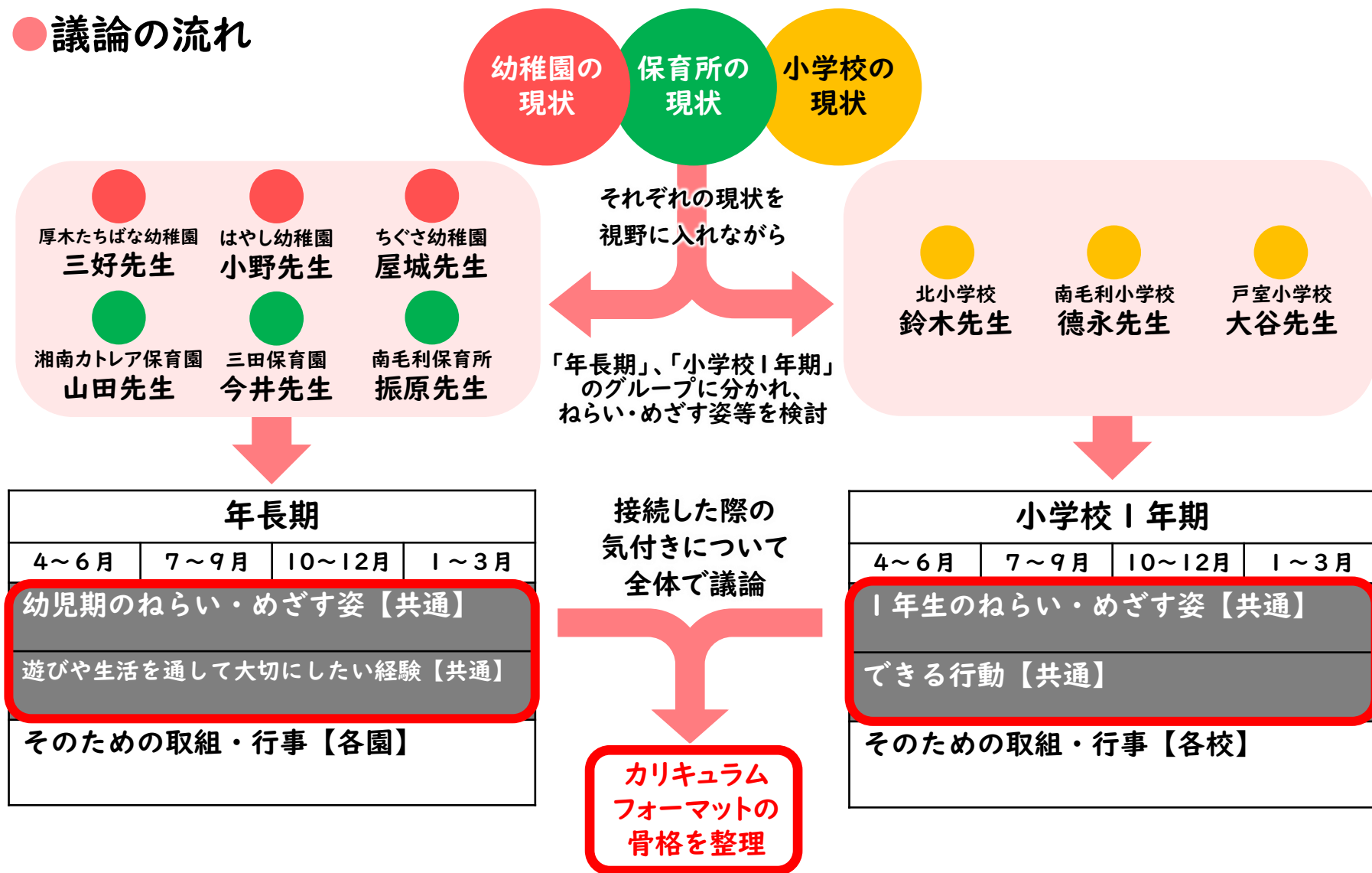
●研究会活動実績

	実施日	テーマ・内容
第1回	5/1	東海大学・寶來准教授の講演「架け橋期の教育について」
第2回	6/16	幼保小の各現場における現状の洗い出し及び情報交換
第3回	7/24	情報交換結果による幼保小の共通の「カリキュラムフォーマット」への落とし込み
第4回	8/28	「年長期」、「小学校1年期」それぞれでの検討深化
第5回	9/11	カリキュラムフォーマットのブラッシュアップ&具体化
第6回	10/30	幼保と小の接続を見通した俯瞰的な視点での議論 ふかん
第7回	11/11	全体バランス調整・最終チェック・総括 ➡ 骨格部分（市の共通指針）の整理完了



3 カリキュラム研究会について

● 議論の流れ



5 今後の流れ（実践グループによる運用フェーズに移行）



カリキュラム研究会	今後も活動を継続し、教育研究発表会における取組内容の報告や、実践グループでの実施状況を基にしたカリキュラムフォーマットの検証・改善を行う。
実践グループ	幼保小の現場が相互の活動を確認し合い、こどもたちの成長の様子を話し合う対話の場となるよう、小学校を中心として幼稚園・保育所を加えたグループを組織する。「取組・行事シート」の作成・実践や、得られた知見を研究会にフィードバックする。3グループからスタートし、順次拡大を予定。
各施設	カリキュラムフォーマットを基に各々で実践する。
厚木市	幼稚園、保育所、小学校の連携の場をコーディネートする。

6 実践グループの動き

合同会議の定着
改善・発展のサイクルの定着
持続的・発展的な交流



幼保小の連携の自走

実践グループから
地域の幼保小との連携を広げる

STEP3【R9:改善・持続可能な体制】



幼保小の共通の視点を確認しつつ
双方に学びのある交流

幼保小の連携開始
フォーマット第1版の実施・検討

STEP2【R8:実施・検討】

連携・接続に
積極的な全員参画



フォーマット第1版を基に
取組・行事シートを作成

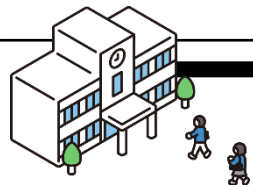
お互いのめざす姿等を共有しながら
取組・行事シートを作成



STEP1【R7:基礎作り・検討】

7 実践グループの活動具体例

小学校



幼稚園
保育所



合同会議（担当者会議）：小学校会場

連携担当で日程調整

時期		取組	内容
R 7 年度	12月	①連携担当者の決定（窓口の明確化） ②各々で取組・行事シートを作成	①連携担当者は学校と園をつなぐ役割 ②各校・園の取組作成
	1～3月	③合同会議（担当者会議）の開催	③取組・行事シートの共有 次年度の計画の確認・共有
R 8 年度	4月	・新入生入学（スタートカリキュラム） ・年長進級（アプローチカリキュラム）	
	5～12月	④合同会議（担当者会議）の開催 各校、園のフォーマット見直し（幼保・小） ・【教育研究所】研究発表会参加	④フォーマットの振り返り 合同会議を受けて見直し ・授業、保育参観等の実施
	1～3月	⑤合同会議（担当者会議）の開催	⑤フォーマットの共有 次年度の計画の確認・共有 ★改善点等を報告

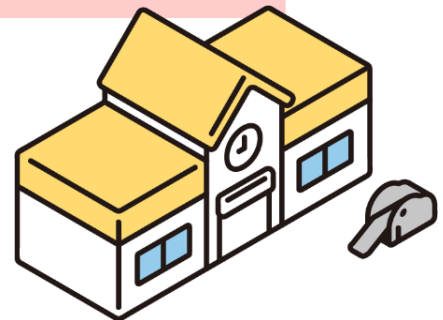
8 実践グループ組合せ

実践グループ（第1版）

戸室小G	戸室小学校	はやし幼稚園	-
依知小G	依知小学校	厚木さくら 幼稚園	依知保育園
戸田小G	戸田小学校	-	相川保育所



- ・ 準備期間：R 7.12～R 8.3
（取組内容検討期間）
 - ・ 実践期間：R 8.4～R 10.3
- ※ 実践期間1年目は助走（市伴走）、2年目は自走



《R 9.11～ 実践グループ（第2版）の活動を予定》